

こんな市になってほしい!



新生「行方市」が、4万市民の夢と希望を乗せてスタートしました。今回は、行方市に期待する市内の中学生の声を紹介します。



永作 徹さん
麻生中学校 3年

僕は、幼少の頃、病弱で病院に通うことが度々あり、たくさんの人にお世話になりました。

お年寄りの方々が病気になった時には、とても心細いでしょう。独り暮らしや家族が仕事で忙しい時は、なおのことです。

そこで、今も行われているデイサービスや、医療機関などを充実させ、皆が安心して暮らせる行方市にしていきたいと思っています。

安心して暮らせる市になってほしい

きれいな霞ヶ浦。
北浦にしてほしい

私は小さな頃から、昔

の霞ヶ浦について話を聞いていました。太陽の光で輝く水面や涼しい風など、それは、美しい水辺の風景が広がっていたそうです。

今回、市になったことで、観光名所としてはもちろん、市民みんなが思わず行きたくなるようなきれいな霞ヶ浦、北浦にしてほしいと思います。



岸根 美友紀さん
麻生中学校 3年



小牧 駿さん
麻生第一中学校 3年

僕の住んでいる行方市は、霞ヶ浦と北浦に囲まれた緑豊かな平野です。

その中でもお気に入り、湖です。しかし最近、水質汚染や釣りを楽しむ人たちが外国の魚を霞ヶ浦に放してしまうそうです。

それによって、霞ヶ浦の生態系が崩れつつあります。僕は、昔のようにアサザやガマといった水性植物、そこに住む動物たちと僕たち行方市民の共存、つまりいいこいの場としての行方市にしたいと思っています。

みんなのいいこいの場になってほしい

たくさんの方が交 流できる街を

私が新たな市に期待することは、交通の充実です。行方市となり、同じ市の住民としてたくさんの人と交流できるようになることを私は願っています。

そして近い将来、進学・就職等で故郷を出るとき、いつでも帰れる、帰りたいたいと思える場所であり、自分の故郷であると胸をはって人に話せる市であってほしいと思います。



額賀 澪さん
麻生第一中学校 3年



境 健人さん
北浦中学校 3年

行方市に期待することは、僕たちが生活しやすくなるようにもつと交通網が整備されることです。そうなれば他の街との交流も盛んになり、経済効果が上がってにぎやかな市になることでしょう。巡回バスや電車などを普及させることにより、マイカーを使わなくても通勤や通学、そして買い物にも行ける環境にもやさしい市になることを期待します

交通網を整備 してほしい

福祉に力を入れて ほしい

私が行方市に期待することは、福祉環境を充実させることです。

例えば、2階に車椅子用のトイレがある体育館があります、その体育館にはスロープもエレベーターもあります。これでは、せつかく車椅子用のトイレがあっても意味がありません。

そこで、ノーマライゼーションの社会を目指し、全ての人に優しい行方市になることを期待します。



青木 可奈子さん
北浦中学校 3年



宮本 晋さん
玉造中学校 3年

50年前に誕生した玉造町が、今年9月より行方市となった。そんな市に僕が強く望むことは、合併したことで他の町との結び付きを強め、市全体が活性化し県内に知られる「行方市」となってもらいたいということです。自分自身も市民としての自覚を持ち、市に対して貢献できることをしていきたい。今後、行方市の発展と共に市のシンボルを市民全体で見つけ広めることができたら良いと思います。

私も市に貢献して いきたい

市全体が家族みた いになってほしい

私にとって玉造町は、本当に居心地の良い場所でした。なぜなら、町全体が家族のように温かかったからです。そして今、二つの町と合併しました。合併した二つの町とすぐ家族のようになるのは難しいと思うけれど、少しずつ仲良くなれたらいいなと思っています。玉造町がなくなったのはすごく淋しいけれど、5年後、10年後には、行方市全体が家族みたいになればいいなと思っています。



松金 咲恵さん
玉造中学校 3年